



インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム
2009 モンゴル

実施報告書

2010年2月26日作成

主 催： 特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング
共 催： 在モンゴル日本国大使館
協 賛： キッコーマン株式会社、花王株式会社、三井石油開発株式会社、
国際石油開発帝石株式会社、全日本空輸株式会社、社団法人林原共済会
助 成： 独立行政法人国際交流基金、Asian Cultural Council
特別協力： 在モンゴルアメリカ大使館
後 援： モンゴル国立交響楽団

特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング

2002年9月、ヴァイオリニスト五嶋みどりによって設立された特定非営利活動法人（NPO）「ミュージック・シェアリング」は、前身である「みどり教育財団東京オフィス」（1992年設立）の活動を引継ぎ、全国の小学校、児童施設、こども病院などを訪問して演奏する「レクチャー・コンサート」を中心に活動しています。

2004年からは日本の伝統音楽に親しむ「邦楽レクチャー・コンサート」を開始、2006年からは、これまで楽器を習うことを希望しながらも機会に恵まれなかった特別支援学校（旧養護学校）の子どもたちに若手演奏家が楽器指導を行う「楽器指導支援プログラム」やアジアでの「インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム」を実施しています。

これらの事業はすべて無料で提供され、活動の全てが個人、法人からのご寄付、財団の助成金、企業協力によって成り立っています。

インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム（ICEP）

International Community Engagement Program

ミュージック・シェアリングの理事長である五嶋みどりが提唱する「コミュニティ・エンゲージメント（社会活動）」とは、アウトリーチ活動のコンセプトをさらに推し進めたもので、“提供者・受容者”という立場を越えて、関わる人間全てが積極的に参加し協力しあうことにより、人と社会・地域の結びつきを強め、お互いの意識や知識を高め合う活動を意味します。

ミュージック・シェアリングでは、音楽の分野におけるコミュニティ・エンゲージメント活動を実施し、演奏家と社会が音楽の素晴らしさを分かち合い、感動を共有できる活動を目指しています。

「インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム」（以下ICEP）では、五嶋みどりが若手演奏家とカルテット（弦楽四重奏）を結成しアジア各国を訪れ、普段の生活の中で西洋音楽に触れる機会がほとんどない子どもたちに生演奏を届けながら国際交流を図ります。

ICEPに参加する若手演奏家は、世界各国から募集し、オーディションにより決定しており、近年ますます望まれる若手音楽家の社会貢献活動への意識を高め、実体験を通じて学ぶ場を提供しています。

これまでに、ベトナム（2006年）、カンボジア（2007年）、インドネシア（2008年）で活動し、活動の翌年には報告コンサートを実施しています。

昨年12月はモンゴルを訪問し、本年6月に東京と大阪で報告コンサートを行います。

また、本年12月にはラオスでの活動を予定しています。



ICEP 2009 モンゴル

1. 概要

期 間 : 2009年12月18～28日

場 所 : モンゴル国 ウランバートル市

公演回数 : 計17回

学校や児童施設での訪問コンサート13回

音楽学校、公共ホールでのコンサート2回

日米大使館関係のコンサート2回

参加者総数 : 約2,700名



2009年は日本モンゴル文化交流取極締結から35年目である。ICEPとしては今回初めて北アジアの国を訪問した。東南アジアとは大きく異なる環境で暮らす子どもたちの生活を視察し、音楽を通じて国際交流を図る良い機会となった。

降雪等の気象状況によっては、ウランバートル市に隣接するダルハン市でさえ行き来するのに2日以上を要することが予想されたため、地方都市訪問を断念し、ウランバートル市内及び市郊外での活動になった。



学校や児童施設の子どもたちは、カルテットの演奏に聴き入っており、楽器体験やQ&Aにも積極的に参加していた。

中でも市内中心部から車で2時間程の場所にあるウランバートル市郊外では、音楽に限らず、子ども向けのイベントが行われる機会が少なく、カルテットの訪問は大変歓迎された。



市内中心部にはビルやマンションが立ち並ぶが、住宅地にはゲルで暮らしている人々も多い。

社会見学の一つとしてゲルを訪ねた際には、塩味のミルクティーや乾燥ヨーグルトなど、モンゴル特有の食べ物が振る舞われ、一般家庭の生活について見聞する機会を得た。



今回は、カンボジアでたびたび目にした貧困の状況（物乞いをする子どもやゴミ山で生活する人々など）を目の当たりにすることはなかったが、道の外れに蓋のないマンホールが点在しているのを見ると、マンホールの中で暮らすマンホールチルドレン、マンホールアダルトと呼ばれる路上生活者の問題が思い起こされた。



2. スケジュール

日時		予定	場所、訪問団体	
12/14	月	演奏家来日		
12/15	火	～12/17 国内リハーサル	林原共済会 横浜施設	
12/18	金	フライト OM502 (成田発・ウランバートル着)		
12/19	土	9:00	リハーサル	
		11:00	勉強会 (モンゴルの教育について)	ホテル会議室
		14:00	勉強会 (モンゴルのアートについて)	Art Council of Mongolia
12/20	日	9:30	訪問コンサート①	国立孤児院
		11:30	訪問コンサート②	モンゲンニ統合学校
		14:00	社会見学	国立歴史博物館、ゲル他
12/21	月	11:00	訪問コンサート③	ゴロムト統合学校
		14:00	訪問コンサート④	NGO 太陽の子
12/22	火	10:00	訪問コンサート⑤	第 116 番学校 (盲学校)
		14:00	訪問コンサート⑥	第 25 特別学校 (養護学校)
		18:00	コンサート①	日本大使公邸
12/23	水	9:30	訪問コンサート⑦	第 84 番学校
		11:30	訪問コンサート⑧	第 97 番学校
		15:00	訪問コンサート⑨	国立リハビリテーションセンター
		18:00	交流会、ミニコンサート	アメリカ大使館
12/24	木	9:30	訪問コンサート⑩	国立母子医療センター 病棟
		10:00	校内視察、学生カルテット指導	国立音楽舞踊学校
		17:00	コンサート②	国立音楽舞踊学校との合同
12/25	金	9:30	訪問コンサート⑪ (学生カルテットと共に)	第 10 治療幼稚園
		11:30	訪問コンサート⑫ (学生カルテットと共に)	第 23 番学校
		15:00	訪問コンサート⑬ (学生カルテットと共に)	バヤンゴル区教育センター
12/26	土	10:00	モンゴル人演奏家との交流、民族楽器体験	国立馬頭琴楽団
		18:00	コンサート③	国立交響楽団との合同
12/27	日	11:00	訪問コンサート⑭*	セトゲムジ統合学校
		午後	市内社会見学	
12/28	月	フライト OM501 (ウランバートル発・成田着)		

宿泊先： 12月14日～17日 林原共済会 横浜施設 (横浜市)
 12月18日～27日 フラワーホテル (ウランバートル市)

*訪問コンサート⑭ … 数日前から寒波による猛吹雪が予想されていたため、学校の判断により26日に中止することになった。

3. ツアーメンバー

<ミュージック・シェアリング ICEP カルテットメンバー>

五嶋みどり Midori (Violin)



Photo: Timothy Greenfield-Sanders

国連平和大使を務めるヴァイオリニスト五嶋みどりは、11歳でニューヨーク・フィルとの共演で楽壇デビュー。以来、バーンスタイン、アバド、メータ、小澤、ラトル、スターン、ズッカーマン、ヨーヨー・マ、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、パリ管、コンセルトヘボウ管などと共演、幅広い演奏活動を続けている。

音楽を通じた地域社会貢献活動にも積極的に取り組み、1992年ニューヨークに「Midori&Friends」と「みどり教育財団東京オフィス」を設立。2002年より日本ではNPO法人「ミュージック・シェアリング」として引き継ぎ、アジア圏にも活動を広げ、米国でも目的に合わせた企画や団体を組織するなど、その活動は社会に影響を与え、支持を得ている。

現在南カリフォルニア大学ソーントン音楽学校弦楽学部主任教授。世界各地でもマスタークラスを開くなど後進の指導を行う。

社団法人林原共済会よりガルネリ・デルジェス「エクス・フォーベルマン」を終身貸与される。

CDはソニー・クラシカルよりリリース。

五嶋みどり公式ホームページ <http://www.gotomidori.com/japan/>

シニ・シモネン Sini Simonen (Violin)



Photo: Stu Eira

フィンランド出身。ハノーバー在住。現在、シベリウス音楽院及びハノーバー音楽大学にてラーラ・レーフに師事。2008年にクレモナ国際ソロ・ヴァイオリンコンクールで第1位、カール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールで第2位に輝く。2005年には権威あるシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールでファイナリストに選ばれる。ヨーロッパ各国でリサイタルを行なうほか、ソリストとして、フィンランド放送交響楽団やヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団などの北欧の一流のオーケストラと共演。

使用楽器は、ジョバンニ・バティスタ・ガダニーニで、フィンランド文化財団から貸与されている。

ジンスン・ホン Jinsun Hong (Viola)



Photo: Byungho Lee

韓国ソウル出身。現在、カーティス音楽院にてミーシャ・エイモリーのもとで研鑽を積んでいる。ソリストとして、ウクライナ国立交響楽団、オラ・ヴィオラ・サウンド（韓国）等と共演。2004年、ニューヨーク・ユース・オーケストラ・フェスティバルの首席ヴィオラ奏者としてカーネギーホールで公演を行ったほか、タオス音楽祭、北京国際音楽祭、釜山国際音楽祭などに参加。

これまでに LISMA 国際音楽コンクールをはじめ、数々の賞を受賞し高く評価されている。

2010年には、韓国にてクムホ文化財団主催のリサイタルを予定している。

ピーター・マイヤーズ Peter Myers (Cello)



Photo: Robert George

米国ミズーリ州セントルイス出身。コルバーン音楽院を経て、南カリフォルニア大学修士課程在学中。これまでに、ロナルド・レナード、ラルフ・カーシュバウムの各氏に師事。マルボロ音楽祭にて、リチャード・グード、アーノルド・スタインハート、マイケル・トゥリー等と共演し好評を博す。また、サグアロ・ピアノ・トリオのメンバーとして、2008年大阪国際室内楽コンクールで2位を獲得するなど、幅広い演奏活動を展開している。

演奏活動以外にも、ヴィオリストのキム・カシュカシヤンの委嘱でヴィオラと打楽器のための作品を手がけるなど、作曲家としても活躍の場を広げている。

<現地参加メンバー>

国立音楽舞蹈学校よりカルテット1組が選抜され、25日の訪問コンサート（3か所）に同行、演奏に参加した。

G. タミル G. Tamir (Violin)
男子学生、16歳、11年生

Kh. サンチル Kh. Sanchir (Violin)
男子学生、15歳、10年生

O. ドゥルボルド O. Dulbold (Viola)
男子学生、15歳、9年生

Z. ノミン Z. Nomin (Cello)
女子学生、16歳、11年生



左からドゥルボルド（ヴィオラ）、タミル（ヴァイオリン）、ノミン（チェロ）、サンチル（ヴァイオリン）

Photo: Kyoko Matsunoki

4. 各訪問先での活動内容

訪問コンサート① 国立孤児院 (ウランバートル市バヤンゴル区)

創立 32 年。2～18 歳までの 260 名が在籍する。
子どもたちは吹奏楽やダンス、伝統音楽などのグループに入り、
音楽に親しんでいる。

モンゴルにはマンホールチルドレンと呼ばれるホームレスの孤
児が多くいる。冬場には気温が氷点下 30 度以下になるモンゴ
ルでは、孤児たちは温水管の通るマンホールで寝泊まりしてい
る。

孤児院に引き取られた子どもは恵まれているのだという。



日 時： 12 月 20 日 (日) 9 : 30～10 : 50

会 場： 国立孤児院 多目的スペース

参加者数： 約 40 名

内 容： ICEP カルテット自己紹介

ボロディン／弦楽四重奏曲 第 2 番 二長調より 第 1 楽章

楽器体験

ブリテン／Alla marcia

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第 8 番より 第 2 楽章

山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) ／からたちの花

ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第 1 楽章

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第 19 番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第 1 楽章

院生による歓迎パフォーマンス (馬頭琴演奏、民族舞踊)

Q&A



Photo: T.Oda

訪問コンサート② モンゲニ統合学校 (ウランバートル市バヤンゴル区)

「統合学校」とは、日本で言う小学校、中学校、高等学校が一つになった学校のこと。

モンゲニ統合学校は 2010 年で創立 20 周年を迎える、全校生徒 1500 名程の学校。

創立当時から日本語クラスを設けている。生徒は、卒業までに日・英・中・韓・露 5 種類の言語から 3 つを選んで学ぶ。

日本の高校や大学へ留学生を送り出すなど日本との交流も多い。



日 時： 2009 年 12 月 20 日 11：30～12：40

会 場： モンゲニ統合学校 ホール

参加者数： 約 200 名

内 容： ICEP カルテット自己紹介

ボロディン／弦楽四重奏曲 第 2 番 二長調より 第 2 楽章

楽器についての説明、楽器体験

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第 8 番より 第 2 楽章

ブリテン／Alla marcia

ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第 1 楽章

山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) / からたちの花

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第 19 番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第 4 楽章

生徒よる歓迎パフォーマンス (ヴァイオリンソロ、ダンス、馬頭琴三重奏、アクロバット)

Q&A



訪問コンサート後、生徒の自宅ゲルを訪問

Photo: T.Oda

訪問コンサート③ ゴロムト統合学校 (ウランバートル市ナライハ区)

1937年創立。卒業生には大統領や著名人が多い。
5～11年生で英語を学ぶ。
2～9年生は音楽が必修科目となっている。

ゴロムト統合学校のあるナライハ区は、ウランバートル市内とはいえ、中心部から車で2時間ほどの距離にある郊外区の一つ。



日時：2009年12月21日 11:00～12:10
会場：ゴロムト統合学校 ホール
参加者数：約400名

内容：ICEP カルテット自己紹介
ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第2楽章
楽器についての説明、楽器体験
ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章
ブリテン／Alla marcia
ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章
山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) / からたちの花
モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第4楽章

Q&A
生徒よる歓迎パフォーマンス (男子生徒の歌のソロ)
生徒による学校紹介



Photo: T.Oda

訪問コンサート④ NGO 太陽の子 (ウランバートル市バガノール区)

バガノール区はナライハ区と同じく郊外区の一つであり、ウランバートル市中心部から車で2時間ほどの距離にある。

ナライハ区からも車で1時間の距離に位置する。

現地で活動する「NGO 太陽の子」が、バガノール区内の孤児や障害児を招待した。



バガノール区 カルチャーセンター

日 時 : 2009年12月21日 11:00~12:10

会 場 : バガノール区 カルチャーセンター

参加者数 : 約300名

内 容 : ICEP カルテット自己紹介

ボロディン/弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

楽器についての説明、楽器体験

ショスタコーヴィッチ/弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

ブリテン/Alla marcia

ハイドン/弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章

山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) /からたちの花

モーツァルト/弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第1楽章

生徒による歓迎パフォーマンス (歌、伝統楽器ヨーチンの演奏、ダンス)

Q&A



Photo: T.Oda

訪問コンサート⑤ 第116番学校 (ウランバートル市スフバートル区)

視覚障害児のための盲学校。

6～24歳までの生徒85名が通っている。

音楽クラスがあり、ロシアで学んだ同校卒業生2名が音楽教師として教えている。

また、韓国からの支援により、コンピュータ専門家が配属されている。



日時：2009年12月22日 10:00～11:30

会場：第116番学校 体育館

参加者数：約100名

内容：ICEPカルテット自己紹介

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

ブリテン／Alla marcia

楽器についての説明、楽器体験

山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) ／からたちの花

ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第1楽章

生徒による歓迎パフォーマンス (コーラス)

Q&A



Photo: T.Oda

訪問コンサート⑥ 第25特別学校 (ウランバートル市スフバートル区)

日本で言う特別支援学校。
全校生徒200名。
脳性麻痺や肢体不自由などの障害を持つ、6～18歳までの子どもが通っている。



日時：2009年12月22日 14:00～15:15
会場：第25特別学校 体育館
参加者数：約200名

内容：ICEP カルテット自己紹介
ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第2楽章
ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章
ブリテン／Alla marcia
楽器についての説明、楽器体験
山田耕筰（ピーター・マイヤーズ編曲）／からたちの花
ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章
モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第4楽章

生徒よる歓迎パフォーマンス（合唱、民族舞踊）
Q&A



Photo: T.Oda

大使公邸コンサート 在モンゴル日本国大使公邸 (ウランバートル市スフバートル区)

日 時 : 2009年12月22日 18:00~20:00

会 場 : 在モンゴル日本国大使館 大使公邸

参加者数 : 約40名

内 容 : ドヴォルザーク/弦楽四重奏曲断片 へ長調 B.120

ボロディン/弦楽四重奏曲 第2番 二長調 より 第3楽章

モーツァルト/弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より第4楽章

山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) /からたちの花

演奏会終了後、会食



Photo: T.Oda

訪問コンサート⑦ 第84番学校 (ウランバートル市バヤンズルフ区)

6～18歳までの生徒2500人が通う。
日本語と音楽教育に力を入れている。



日 時：2009年12月23日 9:30～10:40
会 場：第84番学校 ホール
参加者数：約250名

内 容：ICEP カルテット自己紹介

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

ブリテン／Alla marcia

楽器についての説明、楽器体験

山田耕筰 (ピーター・マイヤーズ編曲) ／からたちの花

ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第4楽章

生徒による歓迎パフォーマンス (歌、馬頭琴合奏、民族舞踏)

Q&A



Photo: TOda

訪問コンサート⑧ 第97番学校 (ウランバートル市バヤンズルフ区)

6～18歳までの生徒2225名が通う。

2009年9月にミュージック・シェアリングが行った事前調査の後、今回の訪問コンサートに向けて、生徒への語学指導を強化してきたとのこと。



日時：2009年12月23日 11:30～12:40

会場：第97番学校 体育館

参加者数：約200名

内容：ICEP カルテット自己紹介

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

ブリテン／Alla marcia

楽器についての説明、楽器体験

山田耕筰（ピーター・マイヤーズ編曲）／からたちの花

ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第4楽章

生徒よる歓迎パフォーマンス（馬頭琴演奏、アクロバット他）

Q&A



Photo: T.Oda

訪問コンサート⑨ 国立リハビリテーションセンター（ウランバートル市スフバートル区）

センターでは、モンゴル国内の障害者用義足作り、障害者への専門的な技術指導、国内外への情報提供を行っている。

16～24歳までの生徒、約120名が在籍しており、1年間の在籍期間中に、個々の障害に合わせた技術を学び、義足作りや調理、コンピュータなどの授業を受ける。



個人別にストックされた靴の木型

Photo: Kyoko Matsunoki

日 時： 2009年12月23日 15:00～16:30

会 場： 第116学校 体育館

参加者数： 約60名

内 容： ICEP カルテット自己紹介

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

ブリテン／Alla marcia

楽器についての説明、楽器体験

山田耕筰（ピーター・マイヤーズ編曲）／からたちの花

ハイドン／弦楽四重奏曲 ハ長調 Op. 3 No. 2 より 第1楽章

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第4楽章

生徒による歓迎パフォーマンス（民族楽器ヨーチン演奏、民族舞踊他）

Q&A



Photo: T.Oda

アメリカ大使館 交流会 **在モンゴルアメリカ大使館** (ウランバートル市スフバートル区)

日 時 : 2009年12月23日 17:00~20:30

会 場 : 在モンゴルアメリカ大使館 大使公邸

参加者数 : 約30名

内 容 : ドヴォルザーク/弦楽四重奏曲断片 へ長調 B.120

 ボロディン/弦楽四重奏曲 第2番 二長調

演奏会終了後、会食



Photo: T.Oda

訪問コンサート⑩ 国立母子医療センター（ウランバートル市スフバートル区）

白血病、心臓病、先天的・外科的身体障害、感染症などの子どもたちが入院している。入院患者のうち、0歳～18歳の子どもは200名程度。

参加した患者の一人、腎臓病で入院中の幼児は、1本約1,000円（現地の庶民的なレストランで6名分の夕食が食べられる程度の額）の注射が毎日必要とのことだった。通常、政府から必要に応じた割合で治療費の補助が出るが、2009年12月現在、新型インフルエンザワクチン等への予算配分が優先されており、母子医療センターの患者補助まで回ってこない状況で、治療の継続が大変な人も多いという。



日 時：2009年12月24日 9：45～11：00
会 場：国立母子医療センター 院内3か所で実施
（心臓・血液内科病棟、神経科病棟、腎臓科病棟）
参加者数：3か所 計 約110名

内 容：ICEP カルテット自己紹介
ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章
ブリテン／Alla marcia
楽器についての説明
モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第4楽章

Q&A



Photo: T.Oda

音楽専攻学生との交流・コンサート 国立音楽舞踏学校 (ウランバートル市スフバートル区)

小学生から高校生までの生徒580名と大学生270名が在籍する学校。地方出身者は寮生活を送っている。

高校生までは、通常授業と音楽・舞踏の専攻科目を学習する。弦楽器とピアノの専攻生は、小学1年生から専攻の授業を受ける。管楽器、伝統楽器、舞踏の専攻生は、小学6年生から専門教育を受けている。

年間30名ほどの学生がロシアへ留学することもあり、ロシア語が得意な学生が多い。



日時：2009年12月24日 11:30~20:30

会場：国立音楽舞踏学校 校内ホール 他

参加者数：コンサート参加者 約200名

内容：〈校内視察〉

馬頭琴演奏での出迎え

学校長による学校紹介

生徒演奏

- ・ピアノソロ 女子学生
- ・ヴァイオリンソロ 女子学生
- ・バリトンソロ 男子学生
- ・馬頭琴四重奏 男子学生
- ・民族舞踊 群舞 男女学生 16名
- ・民族楽器 合奏 男女学生 9名



Photo: T.Oda

〈国立音楽舞踏学校で選抜された学生カルテットへの公開指導〉

(受講者)

ヴァイオリン：G. タミル、Kh. サンチル

ヴィオラ：O. ドゥルボルド

チェロ：Z. ノミン

(曲目)

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番

〈学生カルテットとの合同練習〉

ブリテン／シンプル・シンフォニーより 第4楽章

〈校内での合同コンサート〉

ICEP カルテット演奏

- ・ドヴォルザーク／弦楽四重奏曲断片 へ長調 B.120
- ・ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調 より 第1楽章
- ・モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第1、4楽章

学生カルテット演奏

- ・ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

ヴァイオリン専攻学生のアンサンブル演奏

訪問コンサート⑪ 第10 治療幼稚園 (ウランバートル市)

開園当初の対象が乳幼児だったため、今でも幼稚園という名称だが、現在は小学生以上の年齢の児童も受け入れている。主に障害を持つ子どもが通う。教職員の健常な子女も在園している。

この日の活動には国立音楽舞蹈中央学校の学生カルテットが参加した。

日 時： 2009年12月25日 9:30~10:30

会 場： 第10 治療幼稚園 プレイルーム

参加者数： 約50名

内 容： **(ICEP カルテット)**

ICEP カルテット自己紹介

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第1楽章

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

楽器についての説明、楽器体験

(音楽舞蹈学校 学生カルテット)

学生カルテット自己紹介

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

(ICEP カルテット)

ブリテン／ Alla marcia

(合同演奏)

ブリテン／シンプル・シンフォニーより 第4楽章

幼児による歓迎パフォーマンス (歌)

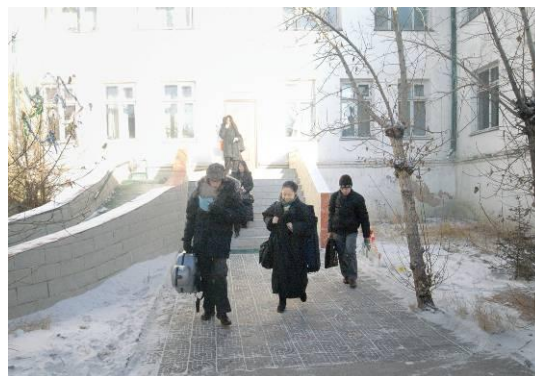


Photo: T.Oda

訪問コンサート⑫ 第23番学校 (ウランバートル市)

語学学習重点校に指定されている学校。

海外在住経験がある生徒や、両親のどちらかが欧米人である生徒の率が、他校に比べて非常に多い。

流暢な英語で質問をする生徒が複数いたため、通訳を介さずに生徒との直接のやり取りが出来た。

日時：2009年12月25日 11:30~12:30

会場：第23番学校 ホール

参加者数：約130名



内容：(ICEP カルテット)

ICEP カルテット自己紹介

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第1楽章

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

楽器についての説明、楽器体験

(音楽舞蹈学校 学生カルテット)

学生カルテット自己紹介

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

(ICEP カルテット)

ブリテン／Alla marcia

(合同演奏)

ブリテン／シンプル・シンフォニーより 第4楽章

生徒代表による学校紹介

生徒による歓迎パフォーマンス (馬頭琴)

Q&A



Photo: T.Oda

訪問コンサート⑬ バヤンゴル区教育センター（ウランバートル市バヤンゴル区）

家庭の経済的な問題や友人・教師とのトラブルなど、様々な事情で学校を退学した子どもたちの復学のために設立された学校。

学年を分けて授業をしているのではなく、複式学級風で学習している。



日 時： 2009年12月25日 15:00～16:00

会 場：バヤンゴル区教育センター

参加者数：約40名

内 容：(ICEP カルテット)

ICEP カルテット自己紹介

モーツァルト／弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465「不協和音」より 第1楽章

ボロディン／弦楽四重奏曲 第2番 二長調より 第1楽章

楽器についての説明、楽器体験

(音楽舞蹈学校 学生カルテット)

学生カルテット自己紹介

ショスタコーヴィッチ／弦楽四重奏曲 第8番より 第2楽章

(ICEP カルテット)

ブリテン／Alla marcia

(合同演奏)

ブリテン／シンプル・シンフォニーより 第4楽章

生徒代表による学校紹介

Q&A

生徒による歓迎パフォーマンス（民族舞踊、ホーミー他）



Photo: T.Oda

モンゴル人演奏家との交流・コンサート 国立交響楽団 (ウランバートル市スフバートル区)

国立交響楽団は、交響楽団と馬頭琴楽団の2つからなる。
交響楽団員は50名。

日 時： 2009年12月26日 10:15~19:15
会 場： 国立交響楽団 ホール
参加者数： コンサート参加者 約250名



内 容： <国立馬頭琴楽団との交流会>

国立馬頭琴楽団による演奏

- ・打楽器アンサンブル
- ・馬頭琴アンサンブルと長唄
- ・ホーミー (のど歌)
- ・馬頭琴カルテット
- ・馬頭琴楽団 合奏

ICEP カルテットによる演奏

- ・ブリテン/Alla marcia
 - ・モーツァルト/弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調 K.465 「不協和音」より 第1、4楽章
- 民族楽器 演奏体験 (馬頭琴他)

<国立交響楽団とのコンサート>

日本大使館 城所大使 挨拶

ICEP カルテット演奏

- ・ボロディン/弦楽四重奏曲 第2番 二長調

国立交響楽団演奏

- ・メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」作品26
- ・モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」より 他



Photo: T.Oda

5. 総括

モンゴルはこれまでの ICEP で訪れた国々よりも教育環境が整っており、語学等に力を入れる学校ばかりでなく、不登校児の復学のための学校もあり、各校で特色ある教育が行われているという印象を受けた。ある学校では、全校生徒の中から、家庭の事情によりコンサート等に出かける機会の少ない生徒が優先的に参加できるよう工夫された。このような配慮はこれまでの国では見られなかった。

街にはオペラやバレエ公演の看板広告が並び、隣国ロシアの影響も受けるモンゴルでは、インドネシアよりも西洋音楽が普及しており、指導者の絶対数が不足しているという感じは受けなかった。

一方で、音楽家によるこうした活動が一般的でないのは、先の ICEP で訪問した国々と同様で、活動に参加したモンゴル人学生たちも、はじめは戸惑った様子を見せた。モンゴル人学生の一人は、「演奏家が学校へ来ても、演奏するだけで交流する機会はなかった。今回は一緒に活動できて感謝している」との感想を述べていた。

ICEP の活動は、災害支援等の緊急性を要する活動とは異なり、はっきりとした成果が見えにくいものではあるが、ウランバートルに暮らす子どもたちと音楽を通して文化交流ができ、相互理解が深まったことは大変有意義であった。



モンゴル人学生との活動の様子 Photo: T.Oda



特定非営利活動法人 ミュージック・シェアリング

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-3-6 九段オーシャンビル 3 階

TEL:03-3261-1855 FAX:03-3261-1856

E-mail : musicsharing@dolphin.ocn.ne.jp URL:<http://www.musicsharing.jp/>